

公表:令和2年 3月 5日

事業所名 山陽小野田こども発達支援センターとことこ

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	12		2		・現在は利用者数が少ないため全員で活動しているが、利用者数が増えれば クラス分けを検討。
	② 職員の配置数は適切であるか	12	1	1		・基準の人数は満たしているが、利用者が増えた場合は、職員の増員を検討していく。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	13		1	・ロッカー、椅子、靴箱等の場所が理解しやすいように個人シールや写真を使用している。	・ウッドデッキからの落下防止の対策や園庭の石垣の危険性を見直す必要あり。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	14			・遊ぶ部屋と生活する部屋を分け個々に合わせて落ち着いて過ごせる場所を提供できるようにしている。 ・空気清浄機や加湿器も稼働しており細目に換気も行っている。	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	11	2	1	・児発管を中心に職員間で協議しながら進めている。	・各専門職がそれぞれの立場からの意見や見解を話し情報交換する場を設けていく。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	5			・初実施の為、保護者等から意見を踏まえて、業務改善に繋げていく。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	6			・今年度より実施の為、3月にHPを更新し公開する予定。また、出された意見は改善できるようにしていく。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか					・新規開設の為、外部評価未実施。今後、業務改善に向けて外部評価を受けることを検討していく。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	13		1	・施設宛てに届いた研修案内を回覧し、情報提供及び周知を図り希望者が参加している。 ・外部研修等に参加した職員は、全体ミーティング等の場を活用し、復伝研修を行い内部研修の機会に繋げている。	・外部研修の復伝研修以外にも資質向上に向けた内部研修を計画的に行う必要がある。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	12	2		・全職員で話し合い確認しながらアセスメントを実施。また、定期的に見直しも行っている。	
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	4	2	・感覚プロフィールや田中ビネー知能検査等の検査を必要な時に使用している。	・感覚プロフィールは全利用者に実施しているが、田中ビネー知能検査を他機関で実施している場合は事業所で実施していない。他機関との情報共有ができるように働きかけていく必要がある。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7	6	1	・児発管が中心になり具体的な支援内容を設定している。	・地域支援については、具体的な取り組み及び計画反映までには至っていないが、各関係機関等と連携を図り支援提供できるような体制作りに努めている。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	11	3		・支援計画書を基にその都度職員間で話し合い情報共有しながら計画に沿った支援を心掛けている。	

関係機関や保護者との連携	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	11	2	1	・各チームで話し合い実施している。	・各チーム(職種)でプログラムを立案している。今後は、チーム同士が連携を図り意見交換しながらより良いプログラムが立案できるようにし
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	12	2		・季節やイベントに応じた内容の活動を取り入れ年間を通して様々な活動ができるように工夫している。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	13	1		・個別療育(作業療法・言語療法)と集団療育をバランスよく組み合わせ発達に応じた支援計画を作成している。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	11	2	1	・朝礼や終礼、役割ボード等を活用して確認を行い報告、連絡、相談を心がけている。	・朝礼や終礼時に出勤している職員間の打ち合わせはできているが、その他職員との情報共有に課題があり、今後は、伝達事項が周知でき
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	13		1	・終礼にて報告、連絡、相談を心がけている。	・終礼時にいる職員間の打ち合わせはできているが、その他職員との情報共有に課題があり、今後は、伝達事項が周知できるような体制やツールを検討する。また、1日の活動や子ども達の様子は報告できているが、支援の振り返りまでには至らないことがある。次の支援に繋
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	13	1		・各専門職の立場から、詳細な記録をとるよう心がけている。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	12	2		・基本は3ヶ月に1回、保護者との面談を行い児童発達支援計画の内容について確認している。	
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	13	1		・児発管が中心に参画している。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	13	1		・相談支援事業所、行政(子育て支援課や健康増進課等)、保育園や幼稚園等と必要に応じて連携を図っている。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか					・現在、医療的ケアが必要な利用者がいない。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか					・現在、医療的ケアが必要な利用者がいない。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	13	1		・併行通園している子どもの保育園等との情報共有を心がけている。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	5	2		・新規開設の為、今年度初めて卒園する利用者より実施する予定。小学校や学童クラブ等との連携を図ることで、スムーズな移行に繋がられるよう努めていく。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	6	3		・各専門機関との連携に努めているが、今後は、支援の質の向上を図る為、助言や研修を受ける体制を構築していく。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	3	8		・併行通園を行っている保育園や幼稚園との連携はあるが、交流や活動の機会はもてていない。今後、交流や活動の機会を設けられるように検討していく。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	10	3	1	・施設長が参加している。	

	⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	14			・送迎、連絡帳、カンファレンス等で日頃の様子や状況を伝え情報共有ができるように努めている。また、保護者より相談を受けた際は、職員間で協議したうえで、迅速に返事を返すよう	
	⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	3	5	6		・現状は実施できていないが、今後、実施する必要があると考えており、実施に向けた体制を検討していく。
保護者への説明責任等	⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	14			・児発管が契約の時に説明しており、サービス内容や利用料金に関すること等、ご質問があれば見学や体験利用時等の場を活用して説明もしている。	
	⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	10	4		・児発管が保護者へ説明し同意を得ている。	
	⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	14			・定期的に実施する面談時や保護者から相談を受けた際に実施。	
	⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	10	2	2	・保護者の交流の場として、「とこカフェ」や「交流会」「運動会」等、家族を交えた行事の開催をしている。	・職員間で検討しながら、保護者同士が交流を図れる場を提供できるよう努めているが、活動の回数、内容等を含め保護者の意見も反映しながら充実させていく必要がある。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	2		・相談等を受けた際、児発管や施設長に相談する体制を築き、その都度、対応策を講じた上で保護者に報告し対応している。	
	⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	12	2		・HPを活用して発信。また、利用者の保護者に対しては、毎月おたよりを発行し活動状況等を伝えている。	
	⑱	個人情報の取扱いに十分注意しているか	13	1		・書類等は施錠できる場所にて保管し、破棄物はシュレッダー処理。 ・PCはパスワードを設定し閲覧できる職員を制限している。	
	⑲	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	11	3		・視覚支援や声かけ等、障害特性に応じて配慮している。 保護者は送迎時や連絡帳等を使用して情報伝達をしている。	
	⑳	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	3	8		・利用者や保護者向けの行事は実施しているが、地域住民を招待する行事を開催するまでには至らず。今後は開かれた事業所として地域に
	非常時等の対応	㉑	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	11	1	2	
㉒		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	14			・年3回(火災、地震、水害)定期的に避難訓練を実施している。	
㉓		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	13		1	・保護者へ状況を確認し、服薬等の対応については必要に応じて医師の指示書の提出を求めている。また、フェースシートの記入により情報把握に努めている。	・状況が変化した時には、書類の訂正を行い朝礼や終礼で報告するように努めているが、詳細な説明や全職員が把握するまでには至っていないこともある為、今後は申し送りの徹底を図り周知していく。

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	13	1		・保護者への確認及びアレルギー調査にて把握に努め、対象者には除去食や代替食を提供	
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10	2	2	・作成・報告を行いファイリングしている。	・今後は、作成した事例を用いて情報共有することや定期的に振り返りを行い事故予防の啓発に努めていく。
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	12	2		・全体ミーティングの際に実施している。	・研修に参加できない職員は議事録での確認となっているが、今後は、全職員が研修会に参加し学ぶことができるよう調整していく。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	3	5	6	・現在は、身体拘束を実施しなくてはいけない対象者はいない。	・今後、対象者となる可能性もある為、パニックや危険行動等の状況を十分に把握した上で、適切な対応ができるよう研修を行い、資質向上に努めていくことで身体拘束の軽減を目指す。また、必要時には、組織的に決定できるような体制作りや記録の取り方等も事前に検討し、職員や保護者へ周知することで、利用者の安全を第一に考え正しく取り組むことができるようにしていく。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。